



発行日：令和3年10月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

### ◆第13回“いい川”・“いい川づくり”ワークショップに参加しました！

本ワークショップでは、2日間にわたる地域・世代・立場を越えた出会い・交流をとおして、将来の日本の川や、川と地域の関係のあり方等について、議論を交しました。各団体間で課題点や解決案、「いい川」とは何かについて、意見交換を行いました。矢作川流域圏懇談会は、当日の発表およびグループワークの参加、運営の支援等を行いました。



日程：令和3年10月2日（土）～10月3日（日）

場所：長良川国際会議場

参加人数：5名（事務局を含む）

### ◆イベントの目的と内容および矢作川流域圏懇談会の参加について

#### 1. 目的とイベントの内容

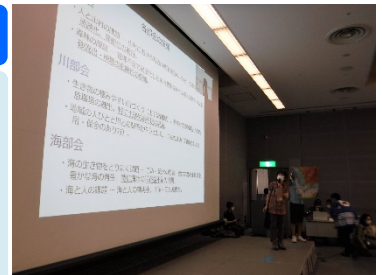


##### ■目的（テーマ、HPより抜粋）

全国各地から“いい川”・“いい川づくり”に向けた発想や視点、関わり、参加や協働のプロセス、“いい川”の回復、実現のために工夫された計画や技術など、意見交換を行い、それぞれの思いや知恵を拾いあげ、これからへ向けて共有することを目的に開催されました。

##### ■主なイベント内容

- ◇全体発表会（会場およびオンラインでの全応募団体の発表会）
- ◇グループワーク（5、6グループに分かれ、全員参加での議論）
- ◇パネルトーク（木曾三川をはじめとする中部の川の豊かさを深堀り） など



全体発表会で、矢作川流域圏懇談会の概要と今後の課題を発表しました

#### 2. 各団体の発表概要（抜粋）



#### 全体発表・グループワークには37団体が参加しました！

##### ■矢作川流域圏懇談会

～矢作川流域圏懇談会 これまでの10年+これからの10年～

矢作川流域圏懇談会の概要説明とこれまでの活動内容、各地域部会の課題や次の10年間の課題などについて、発表しました。

##### ■本別アイヌ協会・十勝川中流部市民協働会議JV

～湿地の維持管理によるアイヌ伝統文化の再生～

湿地の維持管理によるガマの持続的供給やアイヌ民族の文化など、自然や民族との共生について、発表しました。

##### ■ミスベリング岩倉・五条川

～岩倉市 五条川における地域活性化への取り組みについて～

岩倉市民議会のグループワークから発足した「ミスベリング岩倉・五条川」のかわまちづくりに向けた様々に取り組みについて、紹介しました。

##### ■善福寺川を里川にカエル会

～市民力によって都市の川を里川にカエル～

東京都の杉並区を流れる善福寺川を、市民力によって里川に再生する取り組みを発表しました。

##### ■玉ーアクアリウム

～明石川と共に生きる ～神戸市絶滅危惧Bランク・ヒラテテナガエビ～

明石川の環境保全のために、外来種の駆除と在来種や絶滅危惧種の保護をし続けた成果について、情報を発信しました。

##### ■22世紀奈佐の浜プロジェクト

～豊かな海を取り戻すため、100年後の奈佐の浜の漂着ゴミをゼロに！～

3県（愛知県、三重県、岐阜県）の学生が協力して、主な活動とは独立して広報活動などを行っている点や、海ごみの調査や海流から科学的な検証を行っている点等をアピールしました。



グループワークでは、全国の団体とともに議論を交わしました



若い世代に、矢作川流域圏懇談会の概要について説明しました



新型コロナウイルス対策を徹底して開催されました



### 3. “いい川”・“いい川づくり” ワークショップでの主な意見など

#### ■グループワークでの主な意見（抜粋）

##### 【グループA】～広がり求めて～

◇悩み3か条：①次世代への継承 ②時代で変わる課題 ③連携手法

◇いい川3か条：①「次」の話をする ②若い人の発想を活用する。 ③原体験（ごみひろい、川あそび）

##### 【グループB】～水辺管理と次世代継承の課題～

◇悩み3か条：①ごみ問題 ②高齢化・世代交代 ③地元連携

◇いい川3か条：①水がきれい、魚が多いづくり ②子供が遊び、人が親しめる川づくり  
③様々な主体を連携し、“いい川づくり”を進める。

##### 【グループC】～子どもたちに伝えるべきこと～

◇悩み4か条：①ごみが減らない ②活動が広がらない

③オンラインの可能性と限界 ④看板ってホントにいいの？

◇いい川4か条：①関心を持たれている川 ②おいしい・楽しい・儲かる川 ③つながる・かかわる川 ④学べる川

##### 【グループD】～文化・水辺の活用～

◇悩み5か条：①活動を広げたい ②流域で共有する仕組みがいる ③人の輪や専門家の参画

④管理者や他団体との連携 ⑤水辺の構造

◇いい川3か条：①環境学習で誘う、川の安全学習で誘う

②アダプトプログラム、河川協力団体を活用する ③流域で楽しむ

##### 【グループE】～水辺の再生と子どもたち～

◇悩み2か条：①ゴミ ②安全

◇いい川2か条：①子どもが川にいる ②川を良くなるほうに変える

#### ■“いい川”・“いい川づくり” ワークショップのまとめ

**か** 川のにおいを感じられる2日間

**わ** 私が、僕が〇〇〇。が大事！～自己決定できる状況を育む～

**と** 友とのマッチングで全国の学びあい～オンラインの良さを活かそう～

**と** ともに取り組む、「川びらき」治水に参加しよう！

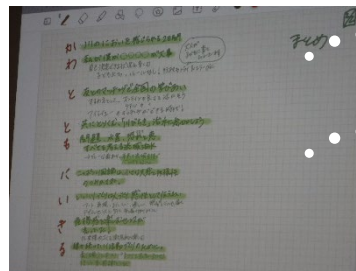
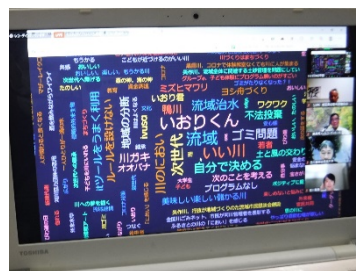
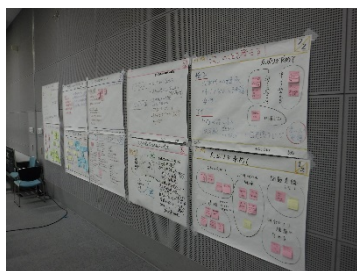
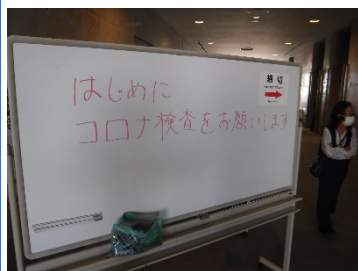
**も** 問題、水害、リスク（恐れ）と恵、すべてを考える流域治水～流域全体でバランスをとる～

**に** ニッポン川国論は、小さな共感と多様性の積み重ね

**い** いい川づくりは人づくり、感性として伝えたい～デザインセンス・文化・市場の掘り起こし～

**き** 危機感を楽しむセンスが光っていた！～外来種やごみを徹底的に楽しむ～

**る** 縷々続いていく活動づくりのために。～素（日常）とまつり。信仰・恵・感謝を人につなぐ～



#### ◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 佐藤、専門官 竹下、技官 木村

TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8129

\*矢作川に関する情報は、国土交通省豊橋河川事務所調査課 (cbr-toyo-chousa1@mlit.go.jp) までお送りください。

